

関西学院大学「ハンズオン・プラクティス」に講師を派遣

～ 信用金庫の社会的使命の解説や地域に潜在する課題を探求 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、10月12日（水）、17日（月）の両日、関西学院大学（本部 西宮市、学長 村田治）ハンズオン・ラーニングセンターで開講する「ハンズオン・プラクティス」プログラムに講師を派遣し、信用金庫の社会的使命や営業エリア内の商店街、中小企業の状況等を解説しました。

本プログラムは、金融・情報・製造・建築などの幅広い分野からゲストスピーカーを招き、学生たちがゲストスピーカーとの対話を通じて「大学生が身につけるべき学びは何か」「社会の一員として何に向き合うのか」等、学び方を学び、考える力を養う教育プログラムです。

当日は、地域の元気、活気をテーマに、信用金庫や当金庫の設立経緯、社会的使命を説明したほか、地域の中小企業や住民、行政との顔の見える関係づくりの重要性を解説しました。その後、受講生たちは、街に求める機能や、世代や組織を超えた住民交流の在り方など、潜在する課題について討議を重ねました。

当金庫はこれまでも、地元大学での寄付講座や大学生向けのウェブセミナーの開催、インターンシップの受け入れなど教育活動を通じた地域貢献活動を行ってきました。今後も大学等との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材育成に貢献してまいります。

記

1. 日時 (1) 令和4年10月12日（水）15：10～16：50
(2) 令和4年10月17日（月）11：10～12：50
2. 場所 (1) 関西学院大学 上ヶ原キャンパス（西宮市）
(2) 関西学院大学 神戸三田キャンパス（三田市）
3. 科目名 ハンズオン・プラクティス
(担当教員 ハンズオン・ラーニングセンター 向井光太郎 准教授)
4. 内容 (1) 信用金庫や当金庫の設立経緯、社会的使命や金融サービス
(2) 地域の中小企業や住民、行政との顔の見える関係づくり
(3) 地域内に潜在する課題についての討議
5. 受講生 関西学院大学の学生 50名



当金庫職員による解説



グループに分かれての討議

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

